



2023年2月14日

各位

会社名 Institution for a Global Society株式会社
代表者名 代表取締役社長 福原 正大
(コード番号: 4265 東証グロース)
問合せ先 執行役員Co-CFO 管理部長 丸山 素子
(TEL. 03-6447-7151)

繰延税金資産の取崩し及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第3四半期決算において繰延税金資産の取崩しを行うとともに、2022年11月11日に公表いたしました「2023年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」における2023年3月期通期業績予想について、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

直近の業績の推移を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2023年3月期第3四半期決算において繰延税金資産の取崩しが発生し、その結果、法人税等調整額41百万円を計上いたしました。

2. 2023年3月期通期業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	849	40	41	25	5.88
今回修正予想 (B)	677	△74	△75	△116	△26.43
増減額 (B-A)	△171	△114	△116	△142	—
増減率 (%)	△20.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	720	39	21	44	10.90

(注) 2021年11月10日付で株式1株につき500株の割合で株式分割を行っておりますが、前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(修正の理由)

売上高は前予想より171百万円減少する見込みです。主な要因は下記のとおりです。

HR事業部におきましては、大企業の人的資本可視化・開示の意識が高まっているものの、多くの企業が戦略的な開示に向けた検討段階であり、実行に向けた動きがまだ本格化していないこ

とからビジネス化への移行が予想より遅れ、前回予想より98百万円減少する見込みです。

また、教育事業部におきましては、予定していたEdTech導入補助金の追加申請分の交付が一部見送りとなったこと、大型案件の一部が翌事業年度にずれこんだこと等により、前回予想より63百万円減少する見込みです。

コスト面では、減資による節税効果を新たに見込むものの、売上高の減少に伴い、営業損失、経常損失、当期純損失を計上する見込みです。当期純損失につきましては、繰延税金資産の取崩しの影響により、前回予想を大きく下回る見込みです。

なお、減資につきましては、本日公表いたしました「資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ」をご覧ください。

(注) 上記の予想数値は当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上